

雄飛

一般社団法人 雄飛会 (福岡工業大学同窓会) 会報 **vol. 23**

発行 一般社団法人 雄飛会(福岡工業大学同窓会)/会報編集委員会
〒811-0295 福岡市東区和白東3-30-1
TEL/FAX 092-608-5982
E-mail dousoukai@fit.ac.jp
URL http://www.fit.ac.jp/dousoukai/



建学の綱領
一、学後の品性を陶冶し、
真の国民としての
教養を啓培する
一、宇宙の真理を探索し、
これを実生活に応用して
社会に貢献する
一、人類至高の精神、自由平和信愛を
基調として世界に雄飛する
人材を育成する

第64回全日本吹奏楽コンクール金賞受賞!!

(平成28年10月29日(土) 於: 石川県金沢市金沢歌劇座)



写真: 第61回九州吹奏楽コンクール(平成28年8月27日(土) 開催)

平成28年度 同窓会育英金受給者決定

今年度は本育英金に21名の応募がありました。応募者の中から書類選考によって候補者を絞り、面接により受給者を決定しました。面接評価においては、①家庭の経済状況、②夢・目標や応募の理由、③家族構成や就学状況、④学業取り組み姿勢などを重点に行いました。今年度の受給者は以下の通りです。

工学部	電子情報工学科	4年	Wさん
工学部	生命環境科学科	4年	Mさん
工学部	知能機械工学科	4年	Nさん
工学部	知能機械工学科	4年	Hさん
情報工学部	情報工学科	4年	Fさん
情報工学部	情報工学科	4年	Oさん
社会環境学部	社会環境学科	4年	Kさん
社会環境学部	社会環境学科	4年	Nさん

※個人情報保護の観点から、個人名は伏せさせていただきます。

母校だより

同窓会会員子弟の受験料免除について

福岡工業大学および福岡工業大学短期大学の同窓会会員(在学生を含む)の子供、兄弟姉妹が本学の入学試験を受験される場合は、**すべての受験料が免除の対象になります。**

入試区分	入学願書による出願	Web出願
特別推薦(前期)	30,000円	-
一般推薦、A方式、特別推薦(後期)	-	30,000円
C方式(前期・中期・後期)	-	15,000円
特別推薦、自己推薦対話型	25,000円	-
一般推薦A・B、一期A・B、二期	-	25,000円
C入試(前期・後期)	-	10,000円

免除を希望される方は、願書を提出される前に、大学・短期大学部に問い合わせて「受験料免除申請書」を入手し、受験料の代わりに受験料免除申請書を出願時に同封してください。

■問合せ先
福岡工業大学・福岡工業大学短期大学部 入試課
TEL : 092-606-0634(直通) FAX : 092-606-7357
e-mail : fit-nyushi@fit.ac.jp

事務局より

1. 募金・名簿などの勧誘について

民間の広告会社より「大学・同窓会の新聞広告」を掲載したいので寄付して欲しいという趣旨の電話による勧誘が行われることがあり、その金額も2万円前後と高額なようです。また、民間の出版社より「福岡工業大学総合名鑑」を発行するので、あなたの情報を提供して欲しいという勧誘も行われているようです。同窓会では寄付や名簿に関する活動などについては、理事会および社員総会の決議を経て責任の所在を明確にして、必ず文書でお願いしています。従って、右記のような勧誘に対しては、同窓会本部では何ら関知しておりませんので、ご注意願います。

2. 異動の連絡をお願いします。

毎年発行される会報「雄飛」や会員大会案内などが皆様の手元に確実に届くために、正しい住所の把握が必要です。皆様の住所・電話番号・勤務先の変更や改姓などにより異動が生じたときは、同窓会にもご連絡くださると幸いです。異動のご連絡は、同窓会ホームページ(<http://www.fit.ac.jp/dousoukai/>)の「住所変更のページ」から行うことが出来ますが、電子メール FAX 葉書でも受け付けております。※異動(転居)がなくても、会報「雄飛」等が届かない場合は同窓会事務局まで「報ください」。

3. 会報「雄飛」への情報提供をお願いします。

同窓会事務局では、皆様からの情報をお待ちしております。会員の近況・就職支援情報、会報「雄飛」に関する感想、その他「質問・要望」などなんでも結構ですので、ご一しお寄せください。

(連絡先)

一般社団法人 雄飛会(福岡工業大学同窓会)事務局
〒811-0295 福岡市東区和白東3-30-1
TEL 092-608-5982(直通)
FAX 092-608-5982
e-mail dousoukai@fit.ac.jp

編集後記

我が同窓会が創立50周年を迎えた今、記憶に残る「記念事業」を計画しています。会報誌「雄飛」においても、学園の発展する状況や会員相互の地域連携活動・絆を強く親睦を深めるのに役に立つ情報が提供できる様、創意工夫してまいります。(広報部)

福岡工業大学 福岡工業大学短期大学部 学長挨拶

学長 下村 輝夫



晩秋の候、会員の皆様にかかれましては、ご清祥のこととお慶び申し上げます。常日頃、学生への経済的支援などご尽力賜り感謝申し上げます。学園では、8月下旬に3階建ての新しい教育棟が竣工致しました。1階は活発な研究活動とその成果の積極的還元や実用化を促進するための研究高度化に対応したオープンラボ、2階は学業・学生生活・キャリア教育・就職活動を一体的に支援するために教務課・学生課・就職課を集約した学生サービス拠点、3階はアクティブラーニング(能動的授業形態)などの14室から構成される多目的教室を配置した教授法・教育法開発の拠点となります。

既に改装したICTを活用した先進的図書館や現在も改装続行中のキャンパスライフの寛ぎ機能を充実させたスペースと併せて、キャンパス全域が革新されます。これらのインフラの充実を礎として、学生の教育付加価値の向上と就職に於ける満足度向上ならびに学園全体のプレゼンスアップを今後とも実現して参ります。このためには、同窓会と大学および短期大学部との連携が重要ですので、何卒よろしくお願い申し上げます。



同窓会会長挨拶

会長 小柳 辰生 (昭和45年電子工学科卒)



同窓会の皆様、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

「第15回大会」母校で開催

平成28年6月母校にて「第15回大会」を開催、昭和41年に同窓会が組織され、今回は50周年を迎える節目の年になります。会場では福工大吹奏楽団の演奏や元ドイツ語助教授の秀崎先生のご好意により、日本では希少な「ワイヤーレコーダー」の実演会などもあり会場も大変盛り上がりしました。

また、ご来賓として、理事長鶴木様、学長下村様、城東高校同窓会長中野様に、ご出席いただきました。

当日は、4月14日発生した熊本地震により被災されました皆様の一日も早い復旧・復興を支援するために「熊本災害義援金」を募り、沢山の方に協力をお願いしました。

母校、目覚ましい発展

さて、母校の現状は、入学志願者数が10年連続で増加(日本記録)、就職率もトップクラス、学校の経営も格付会社のR&Iなどから毎年高い評価を受けるなど、日本中が少子化により厳しい中でも母校は堅実に素晴らしい発展を続けています。

同窓会の活動方針

同窓会も50周年を迎え諸先輩方のご尽力により盤石な基盤をつくって頂きました。更なる発展を目指します。

具体的には①母校の発展②学生支援③支部活動の三本柱をバランスを取りながら進めます。また、支部組織の活性化に資するよう会報誌(雄飛)の充実やHP・SNSの活用を促進、本部組織の改革などを進めております。

一方、支部活動については、参加人数の大小よりも、若年・壮年・高齢層が一堂に会して旧知を確かめたり、新たな出会いや繋がりが生まれる楽しい会合等の開催により、裾野が更に広がることを願っております。

記念事業、皆で育てよう

50周年の記念事業として、現在、元ドイツ語助教授の秀崎先生が維持管理されている「音とモノづくりの歴史資料館」を同窓会が全て譲り受けて、その管理・運営に関する事業を計画しております。将来的には「製品の動体博物館」として付加価値を高め、情報発信を強化することで同窓会・学生・母校に恩恵をもたらすことを目指しております。この事業計画を実現するためには母校の絶大な協力が必要不可欠ことから、学校法人当局と協議を重ねております。同窓生の皆様のご理解とご協力のもと、一丸となつて世界に誇る「動体博物館」を目指しましょう。

第15回大会報告

「ああ、我が良き友よ」

楠本 總幸 (昭和46年通信工学科卒)



平成28年6月18日(土)本学レストラオンオアシスに於いて、第15回同窓会大会が開催されました。

田中陸教理事の開会宣言に始まり、物故者への黙祷、小柳辰生同窓会長挨拶、新役員の紹介、功労者表彰へと進み今回は、前事務局長神谷英和氏、前代議員上野浩一氏、同山口芳弘氏、元代議員近藤俊博氏、同山中建一郎氏に小柳会長より、長年の労に對し感謝の意を込め、記念品が贈られ、神谷前事務局長より表彰者を代表して、ご挨拶がありました。

大学からは、理事長鶴木洋二様、学長下村輝夫様、そして附属城東高校から同窓会会長中野武志様のご臨席を賜りました。

理事長鶴木様、学長下村様から 母校の近況等ご報告頂き、新棟完成も間

近とこのこと(この広報誌が皆様のお手元に届く頃には関係部所引越了完了)、益々発展するわが母校に、卒業生として大変嬉しく誇りに思いました。

今大会は特に大学の、「音とモノづくりの歴史資料館」館長秀崎良彦様(元本学ドイツ語助教授)の世界に誇る数々のコレクションの中から、会場でワイヤーレコーダーの実演をやっていただきました。

細い針金に録音されたレコーダーから、学園歌が流れてきた時には、不思議な気持ちにも成り、鳥肌が立ちました。又当日は、館長秀崎様の展示館を多くの方に見学させていただきました。

後半は北村敏幸氏の進行により、ピョンゲームも盛況でした。何と云っても毎年全国大学のトップレベルの成績を誇る母校吹奏楽団の素晴らしい演奏

にはアンコールの嵐でした。

同窓会の恒例になっている、杉尾民則氏の演舞による学園歌斉唱は、学生部の桑原事務次長(同窓会新事務局長)が当時(昭和50年代)の学ラン、制帽を保管されていたものに身を包み、衰えを感じると、言いながらも力強い演舞でした。杉尾氏は、今回が最後です。次回からの演舞を元応援団員の山之内氏にバトンタッチされるそうです。

当日の参加者はやはり地元開催でもあり、久しぶりに大学へ足を運ぼうかと思う人も多かったのか260名の参加者で、広い会場も狭く感じる程の、人の和・話・輪が出来、最後は北村敏幸氏の開会宣言で閉会となり、大変盛り上がった素晴らしい大会でした。

尚、最後になりましたが、4月に発生しました熊本地震災害への義援金を会場で募りましたところ、233,526円(5月21日筑後支部総会、6月11日北九州支部総会での募金も含む)集まりました。ご協力いただきました皆様ありがとうございました。



鶴木理事長挨拶



下村学長挨拶



小柳会長挨拶



百原氏による乾杯



杉尾氏による学園歌斉唱



ワイヤーレコーダー



秀崎館長によるワイヤーレコーダーの実演



母校吹奏楽団による演奏

支部活動報告

【佐賀・長崎・大分ブロック】3県支部交流会報告

大分県支部 支部長 柴田 廣樹 (昭和48年通信工学科卒)

7月2～3日、大分市において第4回3県支部交流会を開催いたしました。福岡工業大学同窓会のブロック分けとして長崎・佐賀・大分が一つとなっております。

4年前に、せっかくの3県なお互いのことは何も知らないで無意味に過ぎずより、ぜひ交流会の開催を待ち上りました。

交流会といつても重々しく考えないで、ただただ酒を飲むもよし、また旧交を温める中で本音の部分での各県支部の情報交換を行い、今後の同窓会活動に少しでもプラスになればと考えました。開催は、各県回りとして今年は大分の地で行いました。

午前11時過ぎに別府駅で佐賀・長崎からの出席者を迎え別府温泉地獄巡りに出かけましたが、当日の体感温度は35度を超えるもので、地獄の暑さの中で夕方6時30分からは待ちに待った交流会を豊の国健康ランドで開催。懇親会開催前に郷土史研究家を招き「大分と坂本龍馬・勝海舟」についてのお話を拝聴いたしました。

いよいよ懇親会にはいり、時間を経つのも忘れてのワイワイ・ガヤガヤ、笑い声いつぱいの大いなる交流会となりました。

2次会に出かけ、大分を満喫していただき夜は更けていきました。

次回は来年、佐賀で10月下旬を目標に開催することを確約いたしました。来年を今から楽しみにしています。



【四国ブロック】四国ブロック会輪と和を広げて

四国ブロック担当代議員 岩岡 一平 (昭和60年電子材料工学科卒)

9月10日土曜日に徳島市南新町「日本」にて、徳島県支部総会・四国ブロック会を開催いたしました。

徳島県支部総会では、羽坂支部長より、会計報告、活動報告、活動計画などの発表があり、決議されました。

四国ブロック会では、四県支部長をはじめ、中国ブロックより3名(藤本中国ブロック長、専田様、伊藤様)の参加をいただき計13名の参加で行われました。四国ブロック長として冒頭の挨拶で、二つお話しさせていただきました。二つ目は、在校生の為、出口を広げていただく事。特に会社経営されている方は、会社訪問とか就職活動に協力してほしい。二つ目は、同窓会の輪を広げ和を強く、参加者を増やしてほしい。現在は「ゴルフ・懇親会」はやっていきますが、他にも楽しいイベントを企画したいと思っています。何事をするにも、自分自身が楽しくなければ、積極的な活動は出来ません。...

「挨拶挨拶」続いて、藤本中国ブロック長より、「次回、大学の同窓会総会を中四国で、共催してはどうでしょうか。広島であれば、地理的に利便性が高く、何より中四国ブロックの活性化に繋がるのではないのでしょうか。」「挨拶挨拶」と提案説明があり、四国ブロック長・四県支部長をはじめ全会一致で決議されました。

この後、懇親会に移り、酒を酌み交わしながら、親睦を深めました。最後の締めは、母校の学園歌「第 応援歌」をCDを鳴らしながら大合唱で閉会し、有意義な総会になりました。

来年は香川県で、香川県支部総会・四国ブロック会が開催されます。羽坂徳島県支部長から山地香川県支部長へ引き継ぎされました。次回は多く同窓生が集結し、活力ある総会になるものと期待しております。

最後に私は、在学中に硬式野球部で神宮出場を目指し、四年間体育寮で過ごさせていただきました。当時、武監督、上村・渡辺・両コーチ、入江部長にご指導をいただき、そして、学業では多くの先生、職員の皆様にお世話になった事を改めて回想し、感謝の気持ちを深めた一日となりました。

後輩達よ、勉強にスポーツにガンバレ!!



学園歌合唱



羽坂支部長挨拶 岩岡四国ブロック担当代議員挨拶 藤本中国ブロック担当代議員挨拶



福岡工業大学同窓会(一般社団法人雄飛会)支部一覧 (平成28年6月現在)

全国に26のブロック・支部が結成され、世代を超えた会員相互の親睦を図る活動をしています。あなたが所属する支部から「支部総会」等の案内が届きましたら、同窓生を誘って世代を超えた出会いの時間を過してください。

本・支部名(ブロック)	本・支部長名(敬称略)	エ リ ア 内 訳	
北海道支部	有松 義勝(71・通信)	北海道全域	
関東本部	滝石 義礼(76・電気)	茨城県・栃木県・群馬県・埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・山梨県	
東海本部	石田 裕人(79・電子)	長野県・岐阜県・静岡県・愛知県・三重県	
関西本部	浅野 正之(75・電気)	富山県・石川県・福井県・滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県・和歌山県	
中国ブロック	鳥取県支部	本池 憲彦(76・材料)	鳥取県全域
	島根県支部	澤田 一(74・材料)	島根県全域
	岡山県支部	名合 憲司(81・通信)	岡山県全域
	広島県東支部	藤井 敏博(74・管理)	福山市・尾道市・三原市・府中市・庄原市・神石郡神石高原町・世羅郡世羅町
広島県西支部	藤本 正宏(79・電子)	広島市・東広島市・呉市・廿日市市・三次市・大竹市・竹原市・安芸高田市・江田島市・安芸郡府中町・安芸郡海田町・安芸郡熊野町・安芸郡坂町・豊田郡大崎上島町・山県郡安芸太田町・山県郡北広島町	
山口県支部	小畑 太郎(78・電気)	山口県全域	
四国ブロック	徳島県支部	羽坂 敏弘(75・電子)	徳島県全域
	香川県支部	山地 正博(76・電気)	香川県全域
	愛媛県支部	西村 義一(77・電気)	愛媛県全域
	高知県支部	山本 俊平(78・電子)	高知県全域
福岡県福岡支部	小口 幸一(71・電子)	福岡市・春日市・太宰府市・大野城市・筑紫野市・糸島市・古賀市・宗像市・福津市・糟屋郡宇美町・糟屋郡粕屋町・糟屋郡篠栗町・糟屋郡志免町・糟屋郡久山町・糟屋郡新宮町・糟屋郡須恵町・筑紫郡那珂川町	
福岡県北九州支部	木村 征洋(67・電子)	北九州市・中間市・行橋市・豊前市・遠賀郡芦屋町・遠賀郡岡垣町・遠賀郡遠賀町・遠賀郡水巻町・京都郡苅田町・京都郡みやこ町・築上郡上毛町・築上郡築上町・築上郡吉富町	
福岡県筑後支部	甲木 次雄(67・電子)	久留米市・小郡市・朝倉市・八女市・大牟田市・柳川市・大川市・筑後市・うきは市・みやま市・朝倉郡筑前町・朝倉郡東峰村・三井郡大刀洗町・三井郡大木町・八女郡広川町	
福岡県筑豊支部	松岡伸一郎(71・電気)	飯塚市・田川市・直方市・嘉麻市・宮若市・嘉穂郡桂川町・鞍手郡鞍手町・鞍手郡小竹町・田川郡福智町・田川郡糸田町・田川郡大任町・田川郡川崎町・田川郡香春町・田川郡添田町・田川郡赤村	
佐賀長崎大分ブロック	佐賀県支部	牧瀬 玄一郎(69・電子)	佐賀県全域
	長崎県支部	松尾 裕幸(72・機械)	長崎県全域
	大分県支部	柴田 廣樹(73・通信)	大分県全域
熊本・宮崎・鹿児島・鹿児島ブロック	熊本県支部	中本 龍二(76・通信)	熊本県全域
	宮崎県宮崎支部	猿渡 三喜男(75・機械)	宮崎市・日南市・串間市・都城市・小林市・えびの市・北諸県郡三股町・西諸県郡高良町・東諸県郡綾町・東諸県郡国富町
	宮崎県延岡支部	友井 義則(69・機械)	延岡市・日向市・西都市・児湯郡川南町・児湯郡木城町・児湯郡新富町・児湯郡高鍋町・児湯郡都農町・児湯郡西米良村・西臼杵郡五ヶ瀬町・西臼杵郡高千穂町・西臼杵郡日之影町・東臼杵郡門川町・東臼杵郡美郷町・東臼杵郡諸塚村・東臼杵郡椎葉村
鹿児島県支部	増水 紀勝(67・電子)	鹿児島県全域	
沖縄県支部	宮城 洋一(75・通信)	沖縄県全域	

一般クラブ・サークル活動報告

バレーボール部

工学部 電気工学科 2年(宮崎県立宮崎工業高校)

主将 倉元 太平



バレーボール部主将の倉元太平です。

部員は選手33名、マネージャー12名で活動しています。週4日の練習で1日2時間から4時間行っています。経験者や未経験者など多くのメンバーでリーグ優勝、そしてリーグ昇格目指して頑張っています。マネージャーも多いますが、バレー経験者の人が多くいるので同じ練習などをして楽しく活動しています。

これまでの大会の結果は、5部リーグで優勝、そして4部リーグに昇格することができています。現段階では、4部で3位と優勝目前のチームになっています。10月の大会で4年生が引退になるので、このチームに変わって最初の目標にしていた3部を昇格目指して頑張ろうと思っています。

私が部長になってから多くの大会で結果を残すことができています。これも、多くの部員のお陰です。いろいろな性格のメンバーがいてまとめるのも一苦労ですが、このチームの部長でいることを幸せだと思っています。

これからも、日々の練習を頑張り、目標以上の結果を残し、バレーボールでも福岡工業大学という名前を広めていけるようにしていきたいと思っています。今のチームだけでなく、これからのチームも多くの大会で結果を残していけると思っています。

福岡工業大学バレーボール部をこれからも応援お願いします。



水泳競技部

情報工学部 情報システム工学科 3年
(福岡県立西田川高校)

主将 宮田 俊介



こんにちは、水泳競技部主将の宮田です。

現在、水泳競技部は(男子19人・女子6人)の計25人で活動しています。活動場所は香椎駅から徒歩15分のところにあるプリジステン香椎という場所で、月曜、火曜、木曜の週3回練習を行っています。

今年、7月の第2週目に、学生選手権が大分県で行われ、男子400mメドレーリレー、7位入賞しました。惜しくも日本学生選手権水泳競技大会に出場を逃しましたが、女子400m自由形5位入賞、200m自由形5位入賞で、女子は出場が決まりました。第3週目には九州インカレが鹿児島県で行われ、男子400mメドレーリレー8位入賞。女子400m自由形3位という結果でした。この2つの試合で私たちの足りない部分や今後の課題などが見つかり、来年のために日々練習に励んでいます。

また、水泳部は6校の他大学との交流があり、水泳だけでなくほかのスポーツなどの交流戦をし、先輩や後輩、同級生のとのつながりが広く持てます。

これからも、部員に支えられながら12月にある冬季短水路に向け頑張っていきますので応援やご支援よろしくをお願いします。



フットサルサークル fantasia

工学部 知能機械工学科 3年(福岡県立北筑高校)

主将 城井 尚孝



こんにちは。フットサルサークル fantasia 主将の城井尚孝です。フットサルのサークルは他にもあります。私たちのサークルは設立してまだ三年程ではありますが、部員は約三十名、毎週楽しく活動しております。雨の日は活動は中止ではありますが昨年、とても環境の整った人工芝のコートが学校が作ってくださって、夜でも照明を点けて少々の雨なら何なく活動できております。サークルとは言え、遊びではありません。取られたボールは取り返す。歩かない。などは、どのスポーツにおいても当たり前なことです。たとえ初心者であっても、経験者なら尚更そこは重視させております。厳しさの中に楽しさがあるところを充実した活動ができるかと私は考えております。夏には福工大のサッカー部や他のサッカー系のサークルを募ってFIT杯というフットサルの大会も行い、友好を深めております。近年、フットサルの需要が増してきています。これを機にフットサルの楽しさを更に広めていきたいと思います。



サバイバルスポーツ同好会

工学部 電気工学科 2年(鹿児島県立川内高校)

主将 川路 凌平



サバイバルスポーツ同好会主将の川路凌平です。私達はサバイバルゲームというスポーツを楽しむサークルです。サバイバルゲームはあまり聞き慣れないスポーツだと思います。このスポーツは電動ガンなどを用いて模擬戦を行う、非常にスリルあふれるスポーツです。

当同好会の活動としてはこのスポーツの特性上、「フィールド」という専用施設が必要不可欠であるため日頃は情報交換や戦術の研究などを行いますが、月2回程度社会人の方とフィールド定例会に参加し、年数回サークルでフィールドを貸し切り、ゲームを開催しています。

近年は徐々に他大学のサバイバルゲームサークルとも交流が増え、福岡大学や九州大学との合同試合・合同新生歓迎会を行っています。今後もこのようなイベントを通して大学間の連携を強化していく予定です。

また、自衛隊の助力を得て部隊研修を春日基地・飯塚駐屯地で行い実物の装備品などに触れることで自分の戦術や将来設計の参考を得ることが出来ました。

サバイバルゲームはエアガンを使用する為、条例の規制や快く思っていない人が存在しますがそんな中でも50名の部員や他大学・社会人のプレイヤーの存在からも分かるように多くの人に支えられて成り立っています。当同好会は今後もサバイバルゲームの魅力が皆さんに伝わるように活動に努めていきますのでよろしくをお願いします。



一般クラブ・サークル活動報告

モダンアート部

工学部 生命環境科学科3年
(佐賀県立佐賀西高校)
部長 御厨 彩桜理



こんにちは、モダンアート部部長の御厨彩桜理です。私たちがモダンアート部は、サークル棟に部室はありますが、人数が多いため、主にC棟の教室を借りて活動しています。活動時間帯は放課後、平日のみ週5日ですが、勿論自宅でも自主的に活動している人もいます。

具体的な活動内容としては、デジタルアナログ問わずイラスト制作をすることがありますが、それだけでなく、他の部員と交流することで自分にはない技術を教えてもらう等、お互い高め合うことも行っています。

また、学内では毎年イベントごとにC棟などにスペースを取り、展示を行いました。昨年から創生園でモダンアート部の作品の展示とポストカードの販売を行っていています。

自分がサークルを掛け持ちしていることもあり、個人力だけでは至らないところも多いですが、幹部や先輩方からの助けがあつてこそ、部長をやれているのだと感じます。

音楽系サークルと比べて活動自体はそんなに派手ではありませんが、部員には今後も展示会に向けての作品制作と、自らのイラスト制作の技術向上に励んでもらいたいと考えています。

近々、立花祭で展示とポストカード販売を行う予定ですので、福岡工業大学モダンアート部をどうぞよろしくお願ひします。



料理・スイーツ研究同好会

社会環境学部 社会環境学科3年
(福岡県立嘉穂高校)
代表 篠原 暢孝



我々料理・スイーツ研究同好会は計15名で週2回の会合と月1での施設を利用した調理活動を実施している。

会合では月1で行う調理活動の内容を決め、調理に関する情報の共有、自宅で作成したお菓子などの提供やそれに対して他部員たちと相互評価を行う。月1での調理活動では会合で話し合った内容をもとに調理、得た知識を実践する機会として利用している。調理活動の内容はなるべくその月をテーマに内容決めを行っている。実際に例を出すとすれば1月はお正月をテーマにお雑煮、ちらしずしなどを、2月はバレンタインをテーマにチョコプレートを使用したスイーツの作成など。月に沿ったテーマが決められない場合は和食や中華といったジャンルで統一したメニューに挑戦した。7月のテーマは洋食でピエシチューやシューファンなどを作成した。

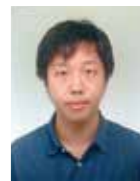
さらに右記の活動に加え、年1回の合宿を企画している。合宿の内容は年度ごとによって異なる。今年度は宿泊先の料理人をお願いをして料理教室を開いてもらい、プロの料理人から技術を学ぶ機会として利用させていただいた。

また、当サークルは近年より活動の幅を広げるためにクックパッドを利用して創作料理作成の試みや学校の地元の方々との交流を行い、さらなる発展のために新たな挑戦を試みている。



茶道同好会

情報工学部 情報通信工学科3年
(東福岡高校)
部長 牛島 謙太郎



こんにちは、茶道同好会部長の牛島謙太郎です。茶道同好会は男子五人、女子五人の総勢十人の部員で活動しています。私たちが学んでいる流派は裏千家です。稽古はコミセンわじろの和室などをお借りして週二日励んでいて、うち二日は講師の是枝悦子先生のご指導のもと稽古に励んでいます。

今年で創部三年の新しいサークルですが、茶会に参加またはそのお手伝いなどをさせていただいたり、京都に行つて裏千家のお家元のご講演を拝聴したり、和の歴史を学ぶなど小さいながら一歩ずつ経験を積み重ね、個人はもちろんのこと同好会としても成長していることを実感しています。

福岡工業大学茶道同好会は創部して二年目ごろに福岡の九大学の茶道サークルが所属している裏千家九州学生茶同研究会に加盟して、他大学と共に茶会を作ったり、イベントに参加したりと横のつながりも大事にしています。今年度では裏千家九州学生茶同研究会の評議員長に我が同好会の会計の赤星麟太郎が任命されて、我が同好会の助けとなっています。彼も同好会のためなら、尽力してくれてとても感謝しています。

茶道というものは勝敗をきめるような分野ではなく、大会での優勝や入賞がないため活動成果が残りにくいですが、しかし、茶道の稽古ではお点前だけでなく、譲り合いや敬う心など、人として成長する糧となる事も学べるので、他サークルとは違った切り口で今後サークルを発展していきたいと思っています。



サブカルチャー同好会

情報工学部 情報通信工学科3年
(福岡常葉高校)
部長 橋本 悠太郎



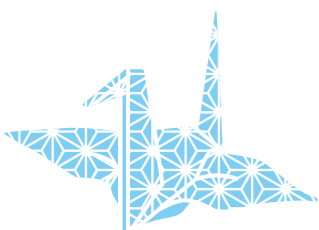
こんにちは、サブカルチャー同好会部長の橋本悠太郎です。

サブカルチャーと聞いてピンとこない人がたくさんいると思うので、まず簡単にサブカルチャーについて説明したいと思います。

サブカルチャーとは主に手芸のことをいいます。ただ、本格的な手芸も含まれるのですが折り紙や簡単な縫物などもサブカルチャーに含まれます。ウィキペディアでは「歴史的な文化とは異なるもの」となっています。何とも曖昧な定義ですが要するに手芸で何か新しいものを作っているんだなという認識を持ってもらえればそれで間違いないです。最近流行っているサブカルチャーなものといえば「レジン」があります。

私たちサブカルチャー同好会では折り紙や布、ガラスやワイヤーなど様々な素材を加工して作品を作っています。現在の部員数は35人です。主に展示する作品を作っているのですが、アクセサリーや小物を作って販売などもしています。

年間の主な活動は7月ごろにある学文祭での展示、11月ごろにある立花祭での展示・販売です。最近では和自病院と老人介護施設の「創成園」と大学の地域連携室で開催される展示会への出品などもさせていただいています。今後のサークルの目標はイベントへの参加や他大学との交流などをしてより良い作品作りをする事です。これからもおもしろい作品を生み出して、サークルを盛り上げていけるように精進します。



競技麻雀同好会

情報工学部 情報工学科3年
(福岡県立北筑高校)
部長 岩元 滉典



こんにちは、競技麻雀同好会です。

現在部員は男女あわせ約50名と多く、その中の約8割は麻雀を大学から始めており、日々楽しく麻雀をしています。競技麻雀同好会は、「麻雀の面白さを多くの人たちに知ってもらいたい」ということを目標に活動しています。また、それと同時に純粋に個々人の麻雀の実力の向上を目的としています。そのため、他大学の学生やOBをゲストとして招待したりするなど、サークル外の方々とも麻雀を行ったり、対局の際、定期的に少しルールを変えるなど変化を加えて活動しています。なお、それら日々の活動の成果を出す場として、月に1度程の間隔でサークル内の大会を開くなど、さまざまなことを実施しています。

そして、我々は麻雀荘で行われる麻雀大会にも参加しており、これらの大会は予選を勝ち抜ければテレビやニコニコ生放送、YouTubeなどに放送されるため、多くの人たちに麻雀とはどういったものなのかを広く伝えることができます。現在では、部員に10人ももの全国大会出場者もいます。



アカペラ同好会

工学部 電子情報工学科3年
(大分県立別府鶴見丘高校)
部長 財前 弘



皆さんこんにちは、福岡工業大学アカペラ同好会部長の財前弘です。

アカペラというものは、楽器を使わずに口だけで演奏するといふものです。今年で7年目を迎え、新一年生も例年よりも多く入ったことにより今まで以上に活気があり、毎日楽しくアカペラをしています。

私も含めて音楽経験がなかったという人が多く、アカペラについてわからなかったのですが、多くの先輩方に支えられながらこれまで活動することができています。今年の活動は、これまで以上に様々な場所でアカペラを披露することが多く、学内のイベントや福岡県内のアカペライベント、コンテストに参加するメンバーが増えとても良い経験をすることができました。

これを機にアカペラを通して色々なことにチャレンジし、福岡工業大学アカペラ同好会というものを広めていきたいと思っています。そのために、部員一丸となつて頑張っていきたいと思ひますので、応援よろしくおねがいします。

あの先生は今

運動のテニスに対して静の趣味。新たな形で自分を表現するため、昨年より町の写真クラブに入会。元教え子がお二人も所属していてびっくり。福工大出身の彼らはパソコンに精通しているので会員の皆様にモニター。いまでは私が逆に支えられ、お陰様でフォトコンテストに三回も入選。まさに「教師冥利に尽きる」こと感慨一入です。

妻と愛犬との朝一時間の散歩の効果もあってか、高血圧を除いては特に気になる持病もなく、晩酌を堪能、人生を謳歌しています。少しでも健康寿命を延ばし、東京オリンピックをスタジアムで観戦したいものと願っているこの頃です。福工大と同窓会の益々の発展をお祈り申し上げます。

「果敢にチャレンジ」

メディアを通じて福岡工業大学の元気の良さを見聞きする機会が年々増え、OBの一人として無上の喜びです。現役を退いて四年半、私の一日は結構忙しい。退職した際、これからは好きなテニスを存分に楽しめたい。五年以内に年齢別で福岡県のシングルスチャンピオンになるぞ」と途方もない目標を掲げました。「継続は力なり」は私の哲学。以後、毎週四〜五日はコートに駆け回り真っ黒。最近、どうにか結果を出せるようになってきました。優勝には今一步の状態です。

元電子情報工学科 教授
神田 豊



元電子材料工学科 講師
服部 毅範



昭和40年4月より電子工業大学電子材料工学科に奉職、平成19年に退職。それ以来、相手にしてくれるのは息子の子供たちだけ。幸い息子は千葉県(鴨川)に住み、その嫁は実家が北海道(紋別)で、それぞれの位置関係から孫たちを中心に交流を深め、楽しく遊べる拠点が確保できた事です。老人にとっては嬉しい事です。先ず、紋別では、丁度宮崎県で狂牛病が発生した頃の春、100kmマラソンに息子が出場、10時間15分で完走しました。丁度網走に勤務しているOBと再会出来ました。

次に、鴨川では、孫の誕生日にシーワールドを訪れたとき飼育の方がサービスでシャチと一緒に写真を撮ってくれました。そのシャチの大きさにビックリ。また鴨川までOBが会いに四街道より来てくれました。家族とは国内外旅行に楽しさと感動が享受できています。

福岡では、アーチエリー部OB及び卒研生OBとの親睦会。この様に素晴らしい出会いとわくわく感の中にある内に、もう10年目を迎えています。そろそろ小学生3人の孫たちとの遊びを卒業するために友人とUSAでホームステイする事を検討中です。また退職以来、体力増進のため殆ど毎日早朝スロージョギングを約50分行っています。最後に、在職中は年齢の差も顧みず、良くぞ我慢してくれた学生諸君と共に素晴らしい時間を共有できた事を心から感謝します。しかし、今、一番心を痛めている事は、OBの悲報です。皆様の健康と活躍を祈ります。

活躍するOB・OG

「30年間つながっていた絆」

1983年に、短大電子工学科、電子計算機コースを卒業しました。

在学中は、女子力満載のクラスで楽しい学生生活でした。大学野球部の初代マネージャーを務めた友人の影響で、野球とラグビーの応援に多くの日々を費やし、その頃の友人とは今でも交流があり、私の人生に大きな影響を与えてくれました。

卒業後は、就職、結婚、育児と、30年間の月日が経ちましたが、学生時代に培った自分で切り拓く「チカラ」は失いませんでした。

長女が小学校1年生の時に、親子でガールスカウトに入団しました。ガールスカウトとは、少女と女性の視点に立って幸せな社会と未来を目指し、リーダーシップを発揮できる人材を育成することを目的とした団体です。そのガールスカウトを15年続けてきた事で、いろんな経験や出会いがありました。下村輝夫学長と出会って大きな力をいただきました。学長は、女性が活躍している団体であることに共感いただき、2015年2月、福工大とガールスカウト福岡県連盟は包括的連携協定を結ぶことが出来ました。「工業大学が、女性の団体と提携を？」と思われるでしょうが、女性の社会進出、未来をつくる女性を育てるという点で学長のお考えと一致したものでした。下村学長との出会いは、偶然ではなく必然であったのです。そして、30年間繋がっていた絆があったのだと信じています。これまでの出会いに感謝して、これから邁進してまいります。

中司 加代子(旧姓 末継)
(昭和58年短大電子工学科卒)



梶川 喬介
(平成22年社会環境学科卒)



今回は私が近況報告をさせていただきます。

私は大学4年間ラグビー部に所属し、全国大会の舞台で関東・関西の大学に勝利することを目標に日々練習に励みました。最高成績は九州で2位と思うような結果を残せませんでした。クラブ活動では様々なことを学びました。特に目標に向かってチーム全体のベクトルを一つの方向に向け努力した経験は社会人となった今でも貴重な財産として残っています。

大学卒業後、株式会社東芝に入社し交通システム部という交通機器、システムを製造する部署に配属されました。主に機関車の工程管理を担当しています。東芝でもラグビー部に入部でき、最初はラグビーの強豪である東芝で自分の力が通用するの不安でした。実際に入部してから2年間は試合に出られない日が続きまして。

つらい状況でしたがラグビー部の先輩方や、あたたかい職場にも恵まれ3年目から徐々に試合に出場することができ、去年からチームの副主将を務めています。

今の最大の目標は東芝で優勝し、2019年に日本で開催されるワールドカップに日本代表として出場することです。



学園歌

あ、玄海に陽は落ちて
紫紺にかすむ立花の
馨床しき峯の色
学徒の夢をそゝるかな
雲はるかなる北洋や
仰ぐ北斗のまたたきに
想いは遠し故郷の
山河新たに胸に沁む
さあれ若人永遠に
汝が生命は火と燃えて
行くや世界の真原理
貫きとめん福工大

第一応援歌

風荒れさわぐ玄海の
海波ひとたび怒りなば
朔北の雄福工大
闕下にいどむ戦いに
勝利の戦旗奪わんと
盟友会す決戦場
工大 工大 若き工大

あ、団結の力こそ
今激闘の唯中に
栄光かけていざ征かん
決死奮戦倒るとも
断固と護れ青き旗
鮮血にじむ学園旗
工大 工大 若き工大

ライトブルーの旗の下
天下の雄を摺伏し
あげるかちどきたからかに
きけ玄海の唯中に
ひとり雄叫ぶ福工大
万古の歴史きずかみや
工大 工大 若き工大



間、福岡は米軍のB-29爆撃機の大編隊が投下した焼夷弾で一夜にして焦土と化したのである。

電気製品並びに機械類、時計、ラジオ、蓄音機、扇風機、アイロンその他色々、これまで手にしたこともない品物であった。まるで執りつかれたように、それらの品を我が家へ持ち帰り、庭で分解しては、組み立てて遊ぶようになり、小学4年の時に、当時の流行であった「ラジオ少年」の仲間入りを果たしたのである。

中学生の頃は、「時期、模型飛行機づくりに興味をもったこともあったが、ますます電気の世界へ戻り、真空管を使ってラジオやアンプを自作する毎日が高校生になっても止まず、高校3年の時には、ほとんどの同級生が大学進学や就職で頭を悩ませている中、小生は、のんびりと大音響で鳴るアンプ製作に熱中し、自らレコードコンサートを開いたりもした。機械いじりに夢中で、将来のこと等、まったく考えていなかった。

18歳の時、父の世話で知り合った戦前からのオーディオオマニヤだった病院の院長先生の助手的存在になり、戦前の蓄音機や電蓄(電気蓄音機)の修理や製作に没頭する毎日が続いた。この頃から、戦前のラジオや電蓄をコレクションするようになった。

クンヨンするように、次第に我が6畳の狭い部屋は、あらゆるものでうめつくされてしまった。なんとか大学は卒業したものの、就職のあてもなく、ただ生きた英語を習得したいがため、自宅から自転車で通える米空軍板付基地での仕事をしようと決意、春



日原の人事課へ相談しに行ったところ、「板付基地の第八電子兵器整備中隊に空席がありますが…」と言われ、面接に向いたところ、英語での面接のみで、採用され、F-105戦闘機の整備をしている格納庫内でGと共に働くことになったのである。これを機に、コレクションはアメリカ製品が多くなったのは言うまでも無い。27歳の時、小生が所属する部隊が横田基地へ移動することになり、退職、再就職はせず、ドイツ系のアメリカ人が時折しゃべるドイツ語に魅了され、ドイツ人の女性と文通を始めた結果、ドイツへ留学することを決意、旧ソ連と連合国側との冷戦のさなか、旧西ドイツのハイデルベルク大学へ入学、約7年間ドイツとオーストリーで生活をする結果となった。これまで、コレクションの中心がアメリカ製だったものが、ドイツ製に変わったのは言うまでも無い。

帰国後、福工大へ就職してからは、毎月、何かしら10点は増やしていったようである。

その間、修理の技術も身についた。時計は、もともと、父が時計屋だったので、父に少しは手ほどきは、受けていたが、それだけでは満足が行かず、地元の時計屋さんに弟子入りしたような形で、柱時計、置時計、懐中時計、それに腕時計の分解、組み立てを身につけた。

音とモノづくりの歴史資料館について

館長 秀崎 良彦



20世紀も終わりに近づいた1999年(平成11年)、校門を入った正面に4階建てのビルが完成。「階が「モノづくりセンター」、棟は「α棟」と命名された。工学を志す本学の学生が、自由にモノづくりを楽しむ施設である。古い校舎跡のクラブハウスで、作業台すらない劣悪な環境で、モノづくりに励んだ多くの先輩達は、現在の近代的な設備を備えた空間をどのように思うであろうか。



1974年(昭和49年)、本学へ就職して間もなく、永年趣味として親しんできたオーディオ関係のクラブに入ります。務めることになり、冬は暖房設備もない荒れ果てたかつての教室で、震えながら、また夏は汗みどろになりながら、学生達と共にアンプやスピーカー製作に熱中した経験があり、今、そのことを思い出すと、そのような環境であっても、不平を述べることもなく、みんな笑顔で、作業していた光景が目につくのである。

大学内に古い電気製品の展示場を設けたのは、80年代の前半だったと思う。最初は、電子工学科の先生であった晴野先生の真空管コレクションを陳列する作業から始まり、次第に展示品を増やすやり方で、最初の展示場は、旧

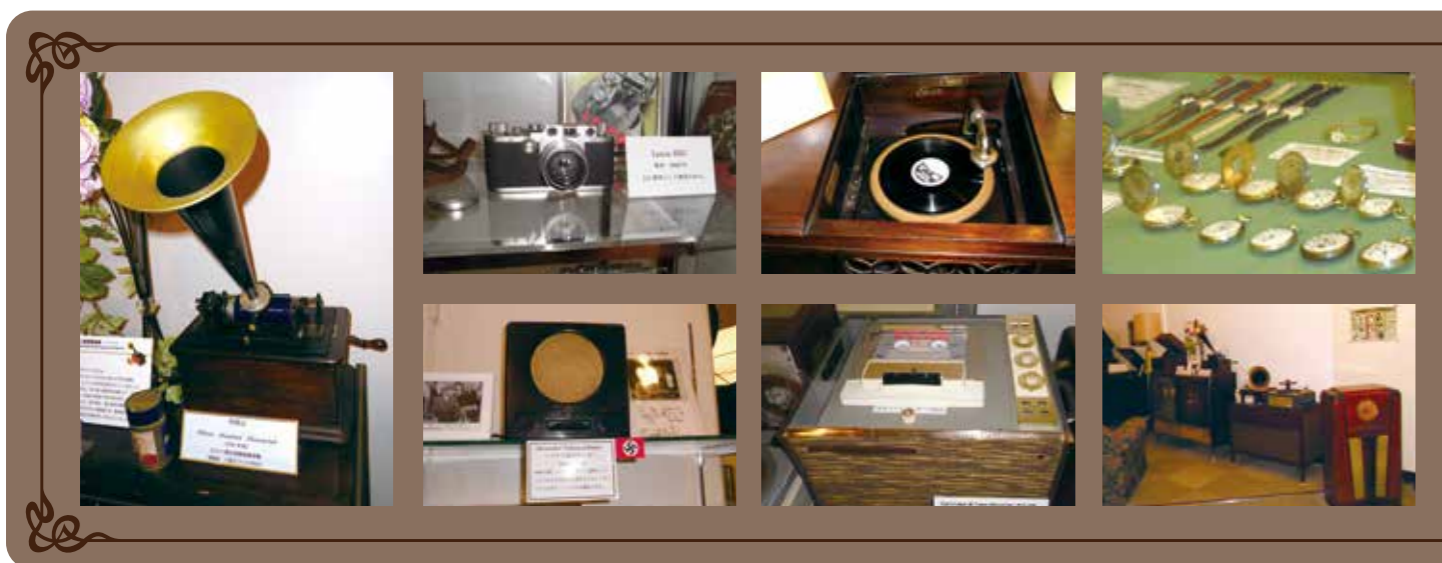
1号館の一階の学生ホール前、売店跡の小さな展示場から始まり、学生食堂オアシスが移転した後は、オアシスとモノづくりセンターの間の通路に展示品を並べた時期もあった。

現在の「音とモノづくりの歴史資料館」は、モノづくりセンターの課長であった内田氏の好意により、オアシス跡の再利用の案としての起案書を提出していただき、オアシスの厨房跡を改造し、晴れて2010年(平成20年)11月3日、学園祭中にリニューアルオープンし、現在に至っている。

展示品は、エンジンの蓄音機から、電蓄(電気蓄音機)、ラジオ、磁気録音機の原点であるWire Recorder(鋼鉄線録音機)、テープレコーダー、真空管、カメラそして時計等を展示、これまで、多くの見学者から好評を得ている。

一昨年は、文部科学省の科学文化遺産保存委員会の方が資料館に立ち寄り、「10年後は世界遺産に登録される貴重品」と展示物に対し絶賛の言葉をいただき、展示品のさらなる充実をはかる決意を新たにしました次第である。

昭和13年生まれの小生は、終戦の年が小学校1年生、昭和20年6月19日の夜

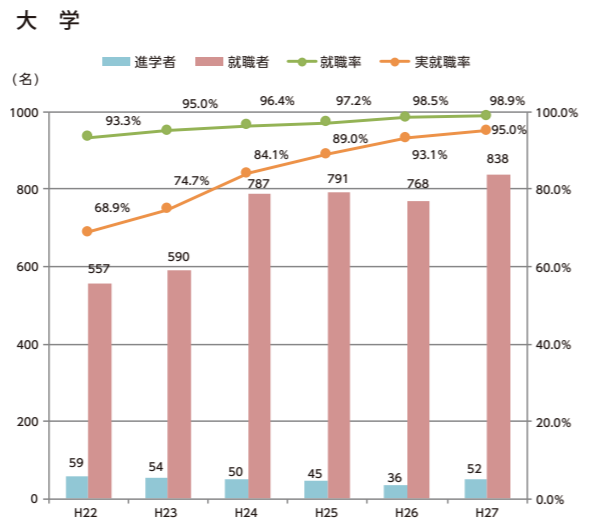


音とモノづくりの歴史資料館 ギャラリー

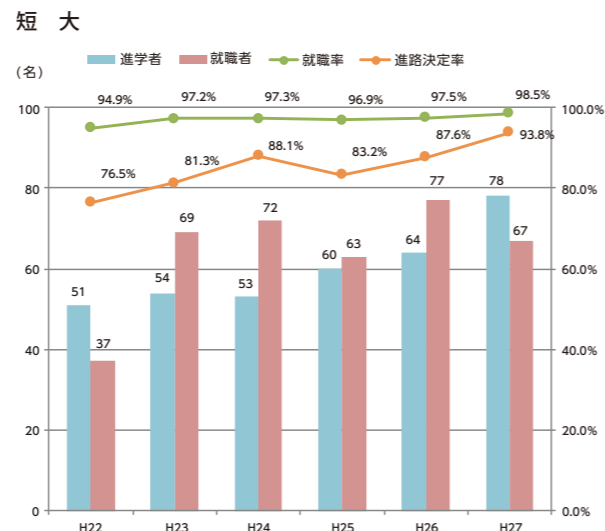


大学 就職率 **98.9%**
実就職率 **95.0%**

短大 就職率 **98.5%**
進路決定率 **93.8%**



平成27年度の就職実績



出典：平成27年度教育・研究活動報告書

決算・予算報告

平成27年度決算 平成27年度収支計算書(H27.4.1~H28.3.31) 単位:円

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
会費	21,660,000	総会費	2,000,000
預金等利息	140,096	理事会費	1,287,983
寄付金	390,000	支部費	4,079,030
雑収入	762,124	広報費	3,811,233
一般会計繰入金	4,837,000	会員情報管理費	664,389
小計	27,789,220	学生修学支援費	3,435,000
前年度繰越収支差額	12,162,493	学生就職支援費	1,700,000
		学術文化スポーツ振興費	500,000
		事務局費	5,382,929
		予備費	50,000
		小計	22,910,564
		一般会計繰入金	4,837,000
		不動産・動産償却費	0
		同窓会会館建設費積立金	0
		特別記念事業費積立金	0
		次年度繰越収支差額	12,204,149
合計	39,951,713	合計	39,951,713

平成27年度貸借対照表(H28.3.31現在) 単位:円

借方(資産)		貸方(負債)	
科目	金額	科目	金額
現金	127,975	会費前受金	18,360,000
郵便振替口座	9,621,928	基本金	4,293,306
普通預金・郵便貯金	10,899,468	総会費積立金	2,000,000
定期預金・担保定期貯金	51,620,036	動向調査費積立金	2,522,130
利付国債	35,000,000	同窓会会館建設費積立金	60,000,000
小計	107,269,407	特別記念事業費積立金	8,498,162
什器備品	612,970	預り金	4,630
		小計	95,678,228
		次年度繰越収支差額(正増収)	12,204,149
		未処理金	11,591,179
		什器備品	612,970
合計	107,882,377	合計	107,882,377

平成28年度予算 平成28年度収支予算(H28.4.1~H29.3.31) 単位:円

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
会費	19,180,000	総会費	3,157,000
預金等利息	80,000	理事会費	1,550,000
寄付金	0	支部費	5,180,000
雑収入	1,220,000	広報費	4,030,000
一般会計繰入金	6,278,000	会員情報管理費	1,410,000
小計	26,758,000	学生修学支援費	3,120,000
前年度繰越金	107,269,407	学生就職支援費	1,700,000
平成29年度会費前受金	16,790,000	学術文化スポーツ振興費	500,000
平成28年度会費前受金	△18,360,000	事務局費	5,111,000
総会費積立金	△2,000,000	予備費	1,000,000
動向調査費積立金	0	小計	26,758,000
同窓会会館建設費積立金	0	同窓会会館建設費積立金	0
特別記念事業費積立金	0	特別記念事業費積立金	0
一般会計繰入金	△6,278,000	不動産・動産償却費	0
平成27年度預り金	△4,630	次年度繰越金	97,416,777
平成28年度預り金	0		
不動産・動産償却引当金	0		
小計	97,416,777		
合計	124,174,777	合計	124,174,777

平成28年度 代議員一覧 (平成28年6月~)

氏名	卒年科	役職	運営委員・専門部等	選出地域
小柳 辰生	70電子	会長		福岡支部
米倉 和實	70電子	副会長	運営委員 広報部長	福岡支部
桑原 雅浩	83電気	事務局長	運営委員	福岡県
田中 睦教	66電子	理事		福岡支部
外山 吉計	71通信	理事	運営委員 学生就職支援部	筑後支部
楠本 總幸	71通信	理事	運営委員 学生修学支援部長 学術・文化・スポーツ振興部	福岡支部
齋藤 文親	67電子	監事		福岡県
松尾 正博	69電子	監事		福岡県
滝石 義礼	76電気			関東ブロック
石黒 佳一郎	72通信			関東ブロック
小野 裕	70機械			東海ブロック
浅野 正之	75電気			関西ブロック
松本 良次	75電気			関西ブロック
藤本 正宏	79電子			中国ブロック
岩岡 幸一	85材料			四国ブロック
小口 一平	71電子		運営委員	福岡支部
萩田 寛司	72電子		運営委員 学生修学支援部	福岡支部
小柳 礼二郎	74電子		運営委員	北九州支部
松岡 伸一郎	71電気		運営委員 会員情報管理部長	筑豊支部
松尾 裕幸	72機械			長崎・佐賀・大分
猿渡 三喜男	75機械			熊本・宮崎・鹿児島
宮城 洋一	75通信			沖縄県支部
橋 豊文	69電子		運営委員	福岡県
松尾 一壽	71電子		運営委員 学生就職支援部長	福岡県
北村 敏幸	81通信		運営委員 学術・文化・スポーツ振興部長	福岡県
本行 義洋	84通信		運営委員	福岡県
小松 時浩	86管理		運営委員	福岡県
藤野 和美	92電気		運営委員 広報部	福岡県
矢羽田 誠一	69短大		運営委員	福岡県
倉光 真紀	92短大		運営委員 広報部	福岡県
百原 武敏	67電子	相談役	平成27年度第2回理事会(10/17開催)にて承認	

学校法人福岡工業大学 第Ⅲ期施設・設備整備計画について

新棟(E棟)が竣工!

8月下旬、新棟(E棟)が竣工いたしました。建物は利便性を重視した低層階構造の3階建てとなっており、1階部分は、さまざまな研究に対応する開放的な研究空間として、多数の機器が入ります。中でも文部科学省等外部支援制度を活用した、DXR顕微レーザーラマン分光装置・小角X線散乱測定装置などは難易度の高い支援事業として採択され導入されました。2階部分は、入学後の学生生活に関するサービス、就職活動の支援、卒業後の就職或いは、大学院への進学希望者など様々な学生サービス(学生課・教務課・大学院事務室・就職課)を1ヶ所(ワンストップ)に集約する事により、一体的な支援を実現しました。3階部分は、FD(教授・教育方法開発)に関する取組みの立案・実施の他、アクティブラーニング(能動的授業形態)等の多目的教室を配置し、更に、フレキシブルなスクールでは大学の学びに必要な基礎学力の定着のために(数学・物理・化学・生物・英語)のサポートを行っており、地域貢献機能を加えた大学・地域連携推進室を設置し、社会との連携強化を図っています。

今後、『E棟』は学内外の研究者・学生・教職員が集う学術センターとして機能していくことと見込んでいます。



< E棟全景 >



< 1階部分 >

●研究高度化に対応したオープンラボとして



< 3階部分 >

●FD(教授・教育方法開発)の拠点として



< 2階部分 >

●学生サポートセンターとして



同窓会から左写真のプランターを寄贈しました。